

人間の役に立つ!

## 働く犬の活動

昔から人と共に暮らしてきた犬のなかでも、自らの仕事を持ち、さまざまな場面で生活をサポートする働く犬の活躍を紹介。



①「視覚障害者と歩くことを想定して訓練することが重要」と訓練士の楠紗代子さんは言う②盲導犬は10歳で引退し、ボランティアア宅で暮らす



働く犬として身近に目にする機会が多いのが盲導犬。視覚障害者と共に行動し、安全な歩行をサポートする盲導犬に求められるのは、人に役割を与えられることに喜びを感じられる性格。なかでもラブラドル・レトリバーは、高い学習能力や人の歩行をサポートする運動能力など最適な資質を備えている。加えて、盲導犬は時と場合により「待つこと」も仕事。つねに緊張することなく、環境の変化にも動じない大らかな気質も大事な素養の一つだ。

大らかな性格も盲導犬の資質の一つ

## 盲導犬



ハーネスと呼ばれる白い胸輪を付け、視覚障害者が安全に歩行できるようサポートするために訓練された犬



④家庭の雰囲気に近い「木香テラス」での生活習慣を培いながら訓練を行う



③誘導訓練では左に寄って歩く段差と交差する障害物回避などの動作をマスター



⑤パピーウォーカーと過ごす時間は、将来盲導犬になる子犬にとって欠かせない経験となる

京都 ● 亀岡

公益財団法人  
関西盲導犬協会

☎0771-24-0323

視覚障害者がいつでも行きたい場所に、安全に行ける社会の実現を目指し1980年に創立。質の高い盲導犬の育成と無償貸与、盲導犬訓練士および歩行指導員の養成などを行う。

☎亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2

☎9:00~18:00※毎月第3日に見学会有り(要予約) 団なし回約20台(無料)☎亀岡駅よりタクシーで15分、京都縦貫道亀岡ICより車で10分

盲導犬は生後2か月でパピーウォーカーと呼ばれる飼育家庭に預けられ、1歳から協会の施設で本格的な訓練を受ける。16年に新たな訓練施設「木香テラス」が完成。世界的にも先駆的でストレスフリーな育成環境として注目を集めている。訓練は、明るく楽しい雰囲気で行うことを心がけ、無理なく訓練に取り組める工夫がされている。

約1年の訓練を経て盲導犬になるのは約3割だが、ほかにも繁殖犬、協会PR犬などさまざまな場所で活躍する。視覚障害者にとって盲導犬は命綱だが、犬と一緒にいることで生活リズムが生まれ、外出に積極的になるといった効果も。いわば人生を共に歩むパートナーでもあるのだ。

子犬のころから始まる育成と訓練で一人前に



①訓練士の安随尚之さんと生後3か月からコンビを組むQちゃん(7歳)。数々の現場を経験してきた②15年のネパール地震で捜索中のエイトちゃん



阪神・淡路大震災で海外から派遣されたことで、存在を知られるようになった災害救助犬。当時、国内ではほとんど普及しておらず、震災を機に各地に育成機関が設立されるようになった。なかでも「日本レスキュー協会」は、専属の訓練士と災害救助犬が常時災害に備える数少ない専門機関だ。荒れた現場を動き回る災害救助犬は、運動能力に秀でた中々大型犬のなかでも、人との協調性が高く、鼻が長く嗅覚が鋭いシェパードやラブラドルがほとんどを占める。

注目された災害救助犬

## 災害救助犬



地震や台風、土砂崩れなど災害で行方不明になっている人を、優れた嗅覚で捜索するために特別に訓練された犬たち



③トレーニングフィールドには高所訓練や障害物訓練ができるタワーなどが設置されている



④数多くの出勤経験を生かして場面を想定し、瓦礫の中に残された人を見付け出す捜索訓練



⑤東日本大震災時は救助隊の一員として被災地に入ったことで災害救助犬の存在が認められた

兵庫 ● 伊丹

## 日本レスキュー協会

☎072-770-4900

災害救助犬・セラピードッグの育成・派遣を中心に活動するNGO団体。国際救助機関として世界的に認められる災害救助犬の育成を目指し、災害時には国内外の幅広い地域で活動。

☎伊丹市下河原2-2-13

☎9:00~18:00※毎月1回見学会有り(要予約、7~9月は除く)団なし回5台(無料) ☎北伊丹駅より徒歩10分

災害救助犬の任務は、警察犬などと異なり、倒壊家屋や瓦礫の中から不特定の人を匂いを探す力が求められる。普段から、災害現場を想定したフィールドで隠れた人を発見する実践捜索を行うが、犬の集中力は短いので約15分区切りで訓練。隠れた人が犬の好きな玩具を持つなど、楽しみながら意欲を刺激し、訓練に達成感を持たせることが重要だ。一人前になるには約3年かかるが、出勤時はいきなり本番。危険な現場で力を発揮するには心身のタフさや人との連携、経験の蓄積が不可欠だ。とはいえ災害現場での有効活用はまだ途上。自治体や救助機関との連携をより深めることで、災害救助犬の活躍の場はさらに広がるはずだ。

災害現場を想定した場で短時間集中で実践訓練